

経済の動き*

【全体感】

東北地域の景気は、引き続き厳しい状態にあるが、全体としてみれば持ち直し基調にある。ただし、このところ、サービス業を中心に新型コロナウイルス感染症の影響の厳しさを指摘する声が増えている。

最終需要の動向をみると、公共投資は、緩やかに増加している一方、設備投資は、弱めの動きとなっている。個人消費は、財消費が総じてみれば堅調である一方、サービス消費は厳しさを増している。住宅投資は、減少している。この間、生産は、増加している。雇用・所得環境をみると、弱い動きが続いている。消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を下回っている。

【各論】

1. 需要項目別動向

公共投資は、震災復旧・復興関連工事や災害復旧工事を中心に、緩やかに増加している。

設備投資は、弱めの動きとなっている。

12月短観（東北地区）における2020年度の設備投資をみると、一部に新型コロナウイルス感染症の影響を受けた投資の先送りがみられることから、製造業・非製造業ともに前年を下回る計画となっている。

個人消費については、財消費が総じてみれば堅調である一方、サービス消費は厳しさを増している。

主要小売業販売額をみると、百貨店やコンビニエンスストアが減少している一方、スーパーやドラッグストア、ホームセンターは増加している。耐久消費財については、家電販売額が増加しているほか、乗用車新車登録台数も新型車投入効果などから持ち直している。

この間、サービス消費は、新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響などから、飲食・宿泊を中心に厳しさを増している。

住宅投資は、貸家を中心に減少している。

* 直近の金融経済統計および企業ヒアリングをもとに、東北地区6県（青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島）の金融経済情勢を取り纏め。

▼日本銀行仙台支店HPへのアクセス

当店HPでは「経済の動き」を始め、東北経済に関する様々な情報を掲載しております。是非ご覧ください。



2. 生産

生産（鉱工業生産）は、増加している。

主要業種別にみると、輸送機械は、新型車の販売好調などを受けて堅調に推移している。生産用機械等は、増加している。電子部品・デバイスも、車載・スマホ向けを中心に緩やかに増加している。この間、食料品は、低調な動きとなっている。

3. 雇用・所得

雇用・所得環境をみると、弱い動きが続いている。

労働需給は、求人、求職とも弱めの動きとなっている。また、雇用者所得は、前年比マイナスが続いている。

4. 物価

消費者物価（除く生鮮食品）は、エネルギー価格の下落などから、前年を下回っている。

5. 企業倒産

企業倒産は、低水準で推移している。

6. 金融情勢

預金動向をみると、個人・法人を中心に全体では前年を上回っている。

貸出動向をみると、個人向け、法人向けの増加を背景に全体でも前年を上回っている。この間、貸出金利は、緩やかながらも低下している。

以 上

本件に関する問い合わせ先 日本銀行仙台支店営業課 TEL：022-214-3120
